



プレスリリース
2005年10月12日

リバティ・アライアンス、連携アイデンティティ管理適用のための ビジネスとポリシーに関するガイドラインを発表

ポリシー決定者向けリバティ初のガイドラインが
連携アイデンティティのビジネス、法律、個人情報関係の課題に対応

世界から 150 以上の企業・団体が参加するアイデンティティ管理と連携サービス技術の標準化団体リバティ・アライアンス・プロジェクト(Liberty Alliance Project)は 10 月 11 日(米国時間)、連携アイデンティティ管理を適用する組織がビジネス、法律、個人情報関係の課題に対応し、管理することを支援するビジネスとポリシーに関するガイドラインを発表したことを発表しました。このガイドラインは、連携アイデンティティを実行し、その大規模な展開を推進しているリバティの会員企業の経験をベースとして開発されました。リバティは米国太平洋時間で 10 月 12 日(水)午前 8 時、日本時間の 13 日(木)午前 0 時からガイドラインについてウェブキャストを行う予定です。

2006 年末までに 10 億以上のリバティ対応アイデンティティとデバイスが世界で運用される見通しであり、リバティは連携を成功裏に展開する技術が整っていることを実証しています。一方で、連携のメリットを十分に活用するには、技術だけでは不十分なこともリバティは認識しています。ポリシー決定者には、トラストサークルを作り、組織間の連携を管理する法律上、契約上の枠組を開発する上で、ビジネス面の配慮が必要なさまざまなことを取り上げ、管理する手段が必要です。リバティ・アライアンスのパブリック・ポリシー・エキスパート・グループ(PPEG)が開発した「ビジネスとポリシーへの適用のためのガイドライン」は、こうした決定の枠組を支援するためにリバティが策定する多数の手段と文書の最初のものであります。

リバティ・アライアンスは、アイデンティティ管理に関わるビジネス、ポリシー、技術分野の課題に取り組み、リバティの仕様を採用した際の個人情報保護について助言と指導をおこなうパブリック・ポリシー・エキスパート・グループ(PPEG)を活動させている唯一のアイデンティティ管理技術の標準化団体です。PPEG のメンバーは、BIPAC(<http://www.bipac.org>)、米共通役務庁(<http://www.gsa.gov>)、オラクル(www.oracle.com)、サン・マイクロシステムズ(www.sun.com)の代表者で構成されており、オープンな連携アイデンティティ管理の自社での研究を活かして、適用のためのガイドラインの開発を推進しています。

「世界各国のポリシー決定者がトラストサークルや連携を業界で実施しようとする、ビジネス、法律、ポリシー上の問題が最大の障害として常に立ちばっかります。そうした問題に我々が取り組むことは、連携アイデンティティ・ソリューションの適用を考えている組織に歓迎される動きです」と、

バートン・グループのダン・ブルーム(Dan Blum)シニア VP 兼リサーチ・ディレクターは語っています。

トラストサークル(信頼の輪)を開発する組織にとって、早急に決定すべきは、企業間で共有される情報の種類、共有の方法と時期、そうした情報の秘密を保全するセキュリティ、トラストサークルへの参加と退会の方法などです。リバティのビジネスとポリシーへの適用のためのガイドラインはポリシー決定者がこうした問題にうまく対処してトラストサークルを短期間に上手に築きあげることができるよう支援します。

「企業がトラストサークルを確立しようとする時、配慮しなければならないことが多数あります。ポリシー決定者がトラストサークルを作ろうとする時に必要な対話を活発にし、また、オープンな連携アイデンティティ・ソリューションを開発した私どもの経験から皆さんが学んでいただけるように、こうしたガイドラインをさくいて作成しました」と、リバティの PPEG 議長でベリサイン(VeriSign, Inc.)のディレクター・オブ・ガバメント・リレーションズのマイケル・アイゼンバーグ(Michael Aisenberg)氏は語っています。

リバティはアイデンティティの問題で現実に即したソリューションを提供することに努めており、ビジネスとポリシーのガイドラインの提供もそうした努力の一環です。リバティの会員企業は、常にエンドユーザーの意見を聞きながらビジネスでの要求案件を明確に定義し、それに基づきながら、アイデンティティ仕様、ガイドライン、ベスト・プラクティスの作成に共同で取り組んでいます。リバティが 2001 年に創設されて以来、一貫してこうした取り組み姿勢を維持してきました。リバティのビジネスとポリシーへの適用についてのガイドラインは 2005 年 10 月 11 日、ウェブサイトにて公開され、ダウンロード可能となります(http://www.projectliberty.org/resources/whitepapers/deployment_guidelines_v2_9.pdf)。

ウェブキャスト: ビジネスとポリシーへの適用のためのガイドライン

「連携についてのビジネスとポリシー上の質問に答える - リバティ・アライアンスの適用ガイドライン」と題したウェブキャストが、米国太平洋時間で 10 月 12 日(水)午前 8 時から 9 時、日本時間の 13 日(木)午前 0 時から 1 時まで実施される予定です。このイベントには、リバティのビジネスとポリシーへの適用についてのガイドラインに関心を持つあらゆる個人が参加できます。説明にあたるのは、リバティのパブリック・ポリシー・エキスパート・グループのメンバー、ならびにビジネスとポリシーのガイドライン策定に従事してきた会員企業のメンバーです。ウェブキャストに参加希望の方はウェブサイトにて登録ができます(https://www.projectliberty.org/scripts/Oct_teleconf.asp)。

リバティ・アライアンス・プロジェクトについて

リバティ・アライアンス・プロジェクト(www.projectliberty.org) は、世界中から 150 以上の企業・団体が参加している非営利・非政府の組織です。コンソーシアムの目的は、既存および新規のあらゆるネットワークデバイスをサポートする連携ネットワークアイデンティティのオープン・スタンダードを開発することです。連携アイデンティティは、企業、政府機関、従業員、および一般の消費者に今日のデジタル社会におけるアイデンティティ情報をコントロールするより便利で安全な方法を提供するとともに、Web ベースのサービスは言うまでもなく、電子商取引、個人データサービス

の利用を促進する重要な要素です。メンバーシップはすべての営利団体および非営利団体に開かれています。

リバティ・アライアンスの会員企業のリスト参照、あるいは入会ご希望の方はリバティのウェブサイト www.projectliberty.org をご覧ください。

※本文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へお願い致します

■ 株式会社 井之上パブリックリレーションズ

リバティ・アライアンス 広報担当 鈴木／リットウイン／平出

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34 新宿御苑前アネックスビル6F

TEL:03-5269-2301/FAX:03-5269-2305 E-mail :liberty@inoue-pr.com